

## 徒然想

急に秋が深まり、体調を崩される方も多くなっています。小学校では、集団風邪が発生し学級閉鎖になったところも。毎年流行するインフルエンザの予防接種は、早めに受けるのが効果的です。ヒトとインフルエンザとの関わりは古く、古代エジプトにおいて既にインフルエンザに感染したという記録も残っているそうです。またご存知の方も多いと思われそうですが、1918年から翌年にかけて世界的に流行したスペイン風邪の正体もインフルエンザで、なんと全世界で2000万～4000万人の死者が出たともいわれています。現在でも、新型インフルエンザと人類との戦いが続いています。日夜、真摯にウイルスと格闘する医療関係者の方には頭が下がります。

## Technical Topics KRC技術情報

### 無線データ転送システムを活用した降雨時土中水分変動の原位置観測システム

土砂災害危険箇所は、全国で50万箇所以上にのぼり、近年、集中豪雨による土砂災害が各地で頻発している現状から、土砂災害の予測と対策は地域の最も重要な防災課題のひとつと言えます。

土砂災害の危険度予測の判定精度を高めるには、一般に用いられている降雨量による雨量指標を用いるとともに、危険箇所における斜面内部の土中水分量、サクシオンを測定することが有効です。

本システムは、このような土砂災害危険斜面に雨量計と土中水分計、テンシオメータを設置し、それらのデータを観測しモニタリングするシステムです(観測間隔は10分、20分、30分、60分より選択)。通常、観測斜面周辺では、観測に必要な電源が得られない場合が多く、まず、その電源の確保が課題となります。そこで、本システムでは、太陽電池パネルによる電源供給を採用しました。太陽電池パネルを活用することにより、日中に発電および蓄電を行って、継続的かつ半永久的に電源を確保することができます。また、観測データは、無線LANにより、中継局を介してモニタリング用パソコンに転送されるシステムとなっているため、遠隔地からのモニタリングが可能です。

【 ホームページ版はこちら: [http://www.krcnet.co.jp/f\\_works043.htm](http://www.krcnet.co.jp/f_works043.htm) 】

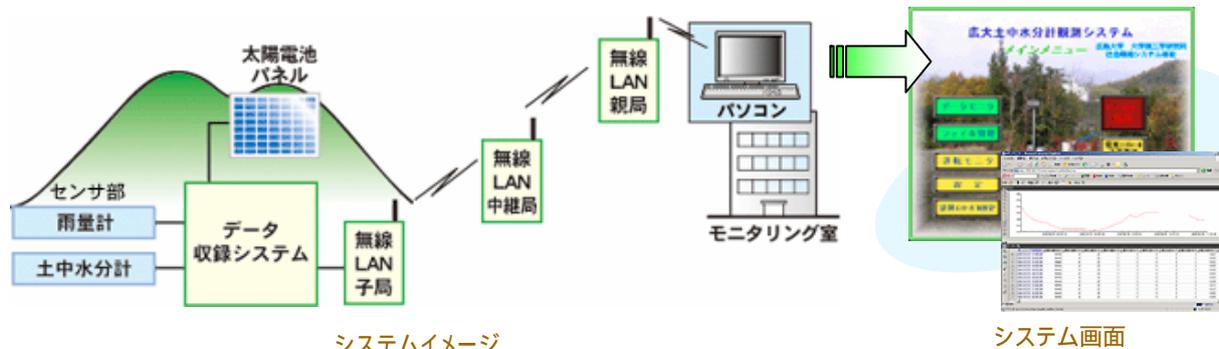
本システムは、広島大学のがら山斜面原位置観測サイト(広島大学大学院工学研究科地盤工学研究室)で運用されています。



太陽電池パネル



中継局



(株)計測リサーチコンサルタントへ問い合わせは、

電子メール : [krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) HP : <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。